

第 36 回「秋田県内企業の景気動向調査」結果

(2020 年 5 月調査)

～ 景況感は大幅に悪化。先行きは厳しい見通し ～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲44.3（前回調査比 20.4 ポイント下落）と 4 期連続で悪化し、大幅な悪化となった。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「売上高」、「営業利益」、「資金繰り」はいずれも悪化し、「人員人手」は大幅にプラス幅が縮小した。
- **業種別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業は 4 期連続の悪化、製造業は 6 期連続の悪化、卸・小売業は 3 期連続の悪化、サービス業が 2 期連続の悪化と、4 業種すべてで悪化となった。
- **地域別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、県北が▲32.4（前回調査比 22.1 ポイント下落）、中央は▲44.4（同 18.9 ポイント下落）、県南は▲51.3（同 22.1 ポイント下落）と 3 地域すべてで大幅な悪化となった。
- **先行き**見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲54.9（今回調査比 10.6 ポイント下落）と一層の悪化が見込まれている。

【 特別調査 】

- **夏季ボーナスの支給動向**についてうかがったところ、回答企業（388 社）の 53.9%が「支給する」と回答した。この割合は、前回調査（64.0%）から 10.1 ポイント低下し、4 期ぶりの低下となった。
- **春季以降の賃金改定動向**について、春季以降の賃金改定動向（ベースアップや定期昇給を実施する（した）か）について尋ねたところ、全業種では「賃上げを実施する（した）」と回答した企業は 37.9%となり、前回調査（46.4%）から 8.5 ポイント低下した。
- **新型コロナウイルス感染症の事業への影響**について、事業活動全体における平常時の経営状況を 100 とした場合の今年度の業績見通しについて尋ねたところ、全業種では「80～100」と回答した企業が 46.1%で最も多く、これに「50～79」（32.0%）が続いた。

2020 年 6 月

株式会社フィデア情報総研

目次

I. 県内企業の業況	3
1. 概況	3
2. 業種別の動向	4
(1) 業種別の概況	4
(2) 業種別 D I 値の動向	5
① 建設業	5
② 製造業	6
③ 卸・小売業	7
④ サービス業	8
3. 地域別の動向	9
(1) 地域別の概況	9
(2) 地域別 D I 値の動向	10
① 県北	10
② 中央	11
③ 県南	12
II. 景気の天気予報図	13
III. 特別調査	14
1. 夏季ボーナスの支給動向について	14
(1) 支給予定動向	14
(2) 支給予定額について	16
2. 春季以降の賃金改定動向について	18
3. 新型コロナウイルス感染症の事業への影響	19
<参考資料 I : 業種別・地域別回答率>	20
<参考資料 II : 調査の概要>	20

I. 県内企業の業況

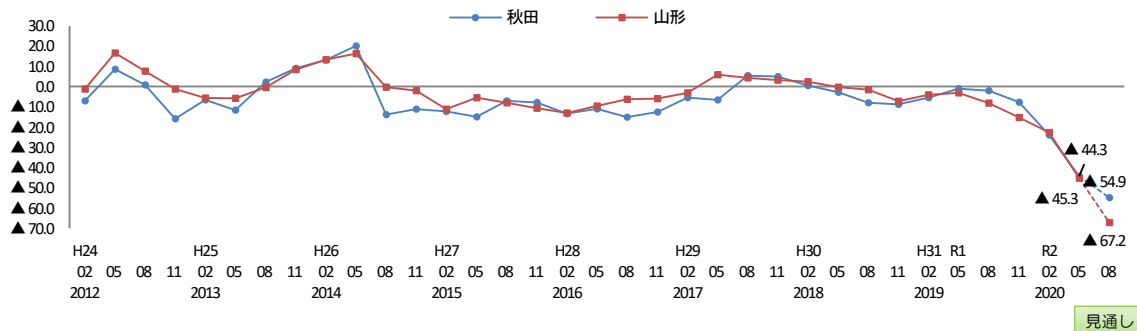
1. 概況

～ 景況感は大幅に悪化。先行きは厳しい見通し ～

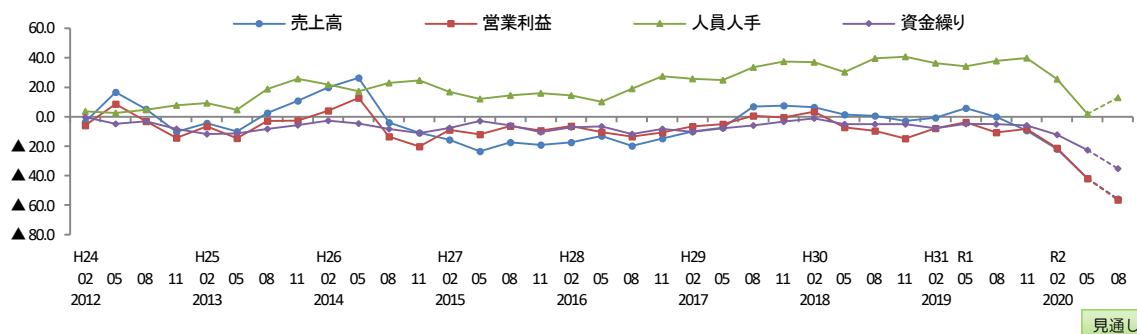
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲44.3（前回調査比 20.4 ポイント下落）と 4 期連続で悪化し、大幅な悪化となった。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「売上高」、「営業利益」、「資金繰り」はいずれも悪化し、「人員人手」は大幅にプラス幅が縮小した。

先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲54.9（今回調査比 10.6 ポイント下落）と一層の悪化が見込まれている。新型コロナウイルス感染症の経済活動への影響が引き続き懸念されるなか、先行きは厳しい見通しとなっている。

図表 1 全業種「自社の業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 2 全業種「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

全業種 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2019.05 (n=372)	▲ 1.1	4.3	▲ 16.9	5.9	▲ 3.7	34.2	▲ 4.9
2019.08 (n=375)	▲ 1.9	▲ 0.8	▲ 12.9	0.0	▲ 10.7	37.9	▲ 5.1
2019.11 (n=367)	▲ 7.6	▲ 5.7	▲ 8.8	▲ 9.3	▲ 8.2	39.8	▲ 5.8
2020.02 (n=377)	▲ 23.9	▲ 16.3	▲ 19.1	▲ 22.0	▲ 21.4	25.5	▲ 12.2
2020.05 (n=388)	▲ 44.3	(▲ 20.4)	▲ 30.3	▲ 41.8	▲ 42.0	2.0	▲ 22.7
前回調査比	-	-	-	(▲ 19.8)	(▲ 20.6)	(▲ 23.5)	(▲ 10.5)
先行き見通し	▲ 54.9	-	-	▲ 55.7	▲ 56.5	12.9	▲ 35.1
今回調査比	(▲ 10.6)	-	-	(▲ 13.9)	(▲ 14.5)	(10.9)	(▲ 12.4)

※ 「売上高」D I 値は、建設業の「完成工事高」を含んだ値。

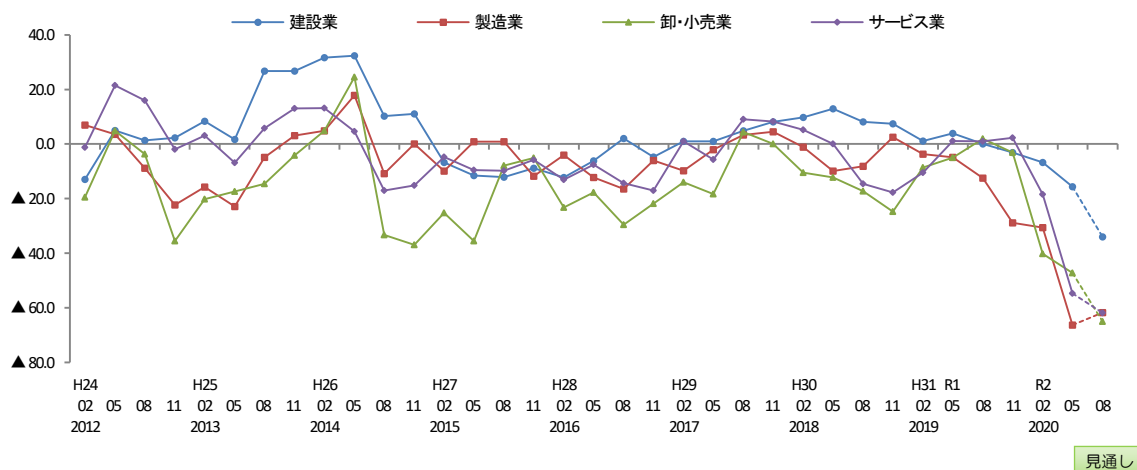
2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業は 4 期連続の悪化、製造業は 6 期連続の悪化、卸・小売業は 3 期連続の悪化、サービス業が 2 期連続の悪化と、4 業種すべてで悪化となった。特に製造業とサービス業では 30.0 ポイント以上の下落とマイナス幅が大きくなっている。

業況の先行き見通しは、製造業で小幅な改善が見込まれるものの依然大幅な悪化超で、その他の 3 業種では悪化の見通しとなっており、総じて厳しい見通しを示している。

図表 3 業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
2019.05 (n=372)	▲ 1.1	3.9	▲ 4.9	▲ 5.0	1.1
2019.08 (n=375)	▲ 1.9	0.0	▲ 12.5	1.9	1.0
2019.11 (n=367)	▲ 7.6	▲ 3.1	▲ 28.9	▲ 3.1	2.3
2020.02 (n=377)	▲ 23.9	▲ 6.8	▲ 30.6	▲ 40.2	▲ 18.4
2020.05 (n=388)	▲ 44.3	▲ 15.6	▲ 66.3	▲ 47.2	▲ 54.7
前回調査比	(▲ 20.4)	(▲ 8.8)	(▲ 35.7)	(▲ 7.0)	(▲ 36.3)
先行き見通し	▲ 54.9	▲ 34.0	▲ 61.8	▲ 65.1	▲ 61.9
今回調査比	(▲ 10.6)	(▲ 18.4)	(4.5)	(▲ 17.9)	(▲ 7.2)

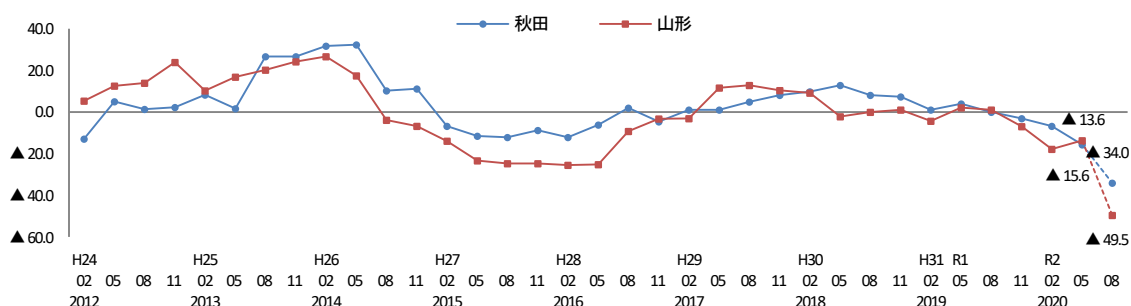
(2) 業種別 D I 値の動向

① 建設業

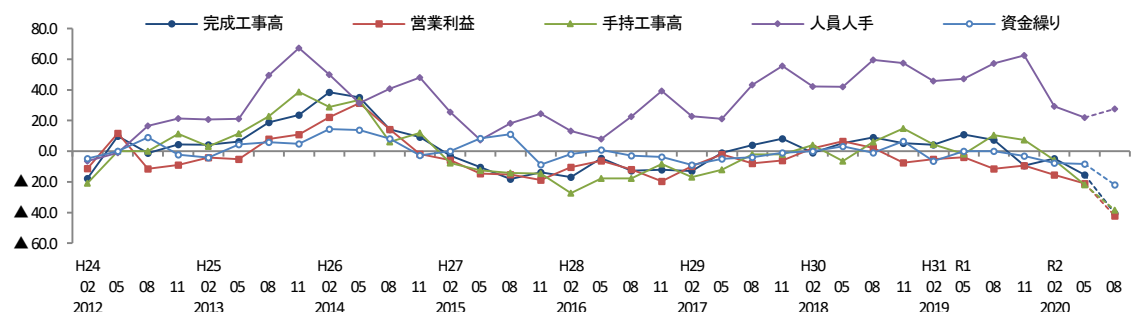
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲15.6（前回調査比 8.8 ポイント下落）と 4 期連続の悪化となった。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「完成工事高」、「営業利益」、「手持工事高」、「資金繰り」はいずれも悪化し、「人員人手」は 2 期連続でプラス幅が縮小した。各社のコメントからみると、輸入資材の納入遅れや民間発注の仕事量の減少が見られるなど、新型コロナウイルス感染症の影響がうかがえた。

先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲34.0（今回調査比 18.4 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 4 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 5 建設業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

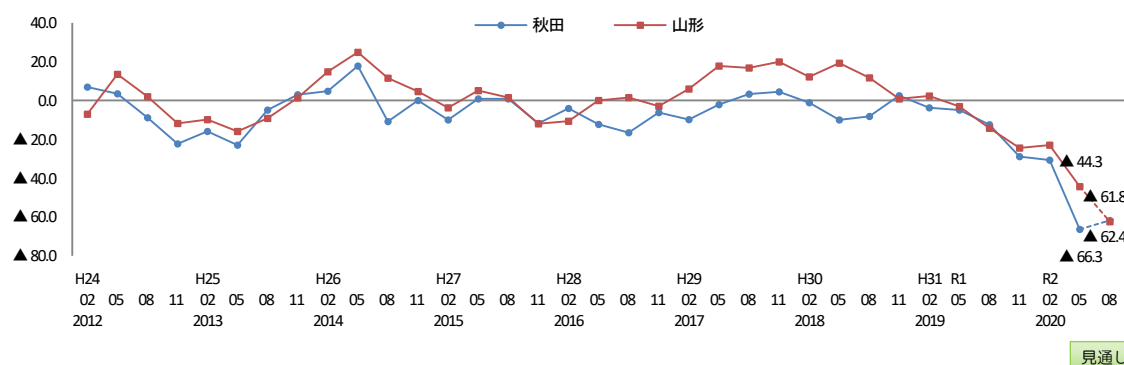
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
2019.05 (n=102)	3.9	2.8	▲ 10.6	10.8	▲ 3.9	▲ 1.9	47.1	0.0
2019.08 (n=96)	0.0	▲ 3.9	▲ 6.8	7.3	▲ 11.5	10.5	57.3	0.0
2019.11 (n=96)	▲ 3.1	▲ 3.1	6.3	▲ 9.4	▲ 9.4	7.3	62.5	▲ 3.1
2020.02 (n=103)	▲ 6.8	▲ 3.7	▲ 13.6	▲ 4.8	▲ 15.5	▲ 5.8	29.2	▲ 7.8
2020.05 (n=109)	▲ 15.6	(▲ 8.8)	▲ 31.1	▲ 15.5	▲ 21.1	▲ 22.0	22.0	▲ 8.3
前回調査比	-	-	-	(▲ 10.7)	(▲ 5.6)	(▲ 16.2)	(▲ 7.2)	(▲ 0.5)
先行き見通し	▲ 34.0	-	-	▲ 40.4	▲ 42.2	▲ 38.5	27.5	▲ 22.0
今回調査比	(▲ 18.4)	-	-	(▲ 24.9)	(▲ 21.1)	(▲ 16.5)	(5.5)	(▲ 13.7)

② 製造業

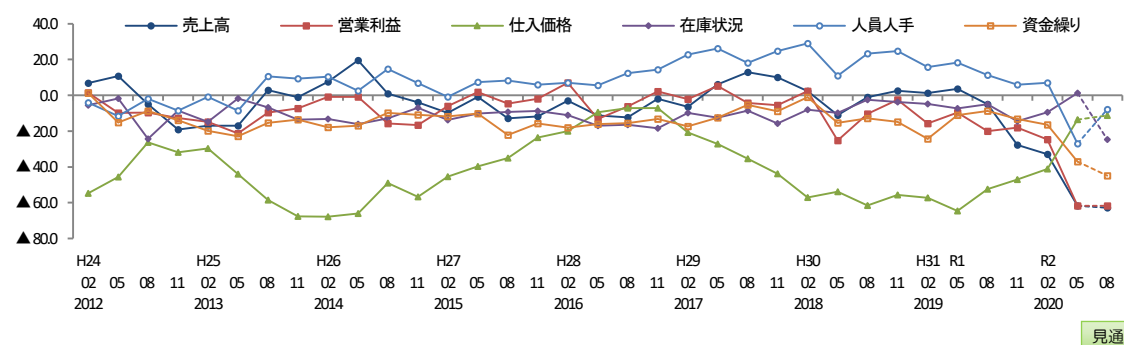
「自社の業況D I 値（前年同期比）」は▲66.3（前回調査比 35.7 ポイント下落）と大幅に悪化し、6 期連続での悪化となった。「各種D I 値（前年同期比）」では、「仕入価格」と「在庫状況」が改善した一方、「売上高」、「営業利益」、「資金繰り」は悪化と、前回調査と同様の動きとなった。「人員人手」は余剰に転じた。各社のコメントからみると、外出自粛やイベント中止などの影響から酒造などの食品製造に落ち込みが見られるほか、自動車関連や衣料品関連など多くの業種で受注の減少が見られるなど、総じて新型コロナウイルス感染症の影響が色濃くうかがえた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲61.8（今回調査比 4.5 ポイント上昇）と依然大幅な悪化超ながら、小幅な改善が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

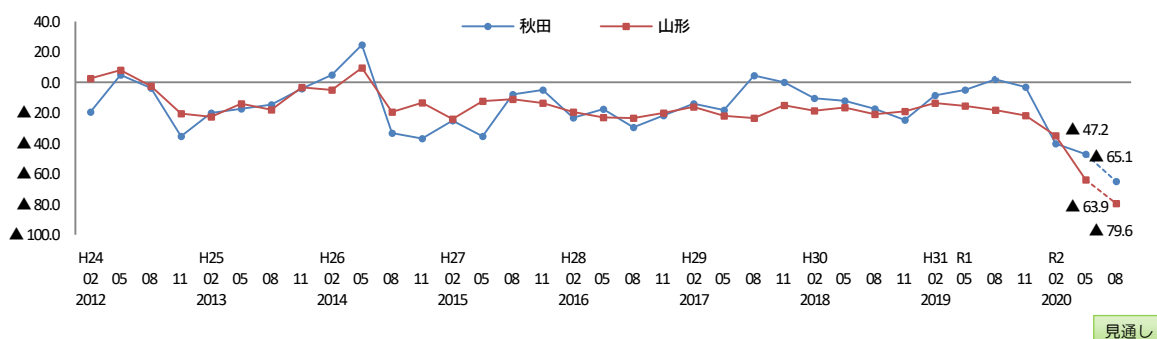
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2019.05(n=82)	▲ 4.9	▲ 1.2	▲ 26.8	3.7	▲ 9.7	▲ 64.6	▲ 7.3	18.3	▲ 11.0
2019.08 (n=80)	▲ 12.5	▲ 7.6	▲ 19.5	▲ 5.0	▲ 20.0	▲ 52.5	▲ 5.0	11.3	▲ 8.8
2019.11 (n=83)	▲ 28.9	▲ 16.4	▲ 16.3	▲ 27.7	▲ 18.0	▲ 47.0	▲ 14.4	6.0	▲ 13.3
2020.02 (n=85)	▲ 30.6	▲ 1.7	▲ 24.1	▲ 33.0	▲ 24.7	▲ 41.2	▲ 9.5	7.1	▲ 16.5
2020.05 (n=89)	▲ 66.3	(▲ 35.7)	▲ 25.9	▲ 61.8	▲ 61.8	▲ 13.5	1.2	▲ 27.0	▲ 37.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 28.8)	(▲ 37.1)	(27.7)	(10.7)	(▲ 34.1)	(▲ 20.5)
先行き見通し	▲ 61.8	-	-	▲ 62.9	▲ 61.8	▲ 11.2	▲ 24.7	▲ 7.8	▲ 44.9
今回調査比	(4.5)	-	-	(▲ 1.1)	(0.0)	(2.3)	(▲ 25.9)	(19.2)	(▲ 7.9)

③ 卸・小売業

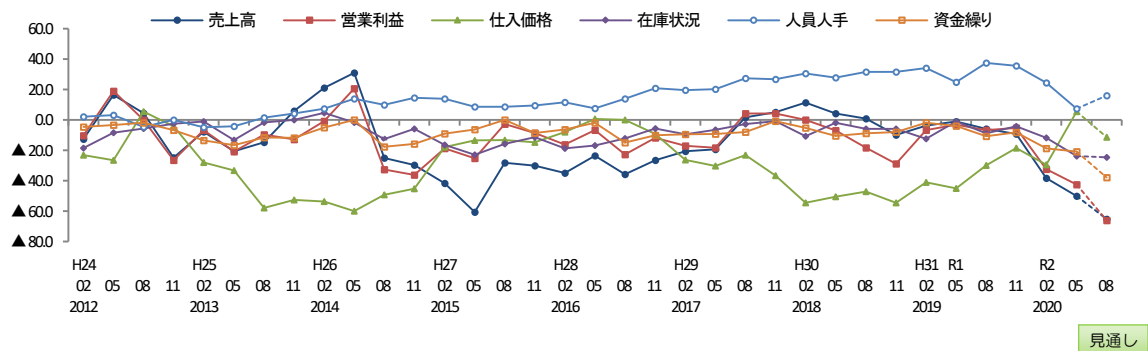
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲47.2（前回調査比 7.0 ポイント下落）と 3 期連続での悪化となった。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「仕入価格」が大幅に改善し低下に転じた一方、「売上高」、「営業利益」、「在庫状況」、「資金繰り」は悪化し、「人員人手」は 3 期連続でプラス幅が縮小した。各社のコメントからみると、外出自粛やイベント等の中止を受けて飲食料品関連やガソリンスタンドなどで業況の悪化が見られるなど、総じて新型コロナウイルス感染症の影響がうかがえた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲65.1（今回調査比 17.9 ポイント下落）と、一段と悪化が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

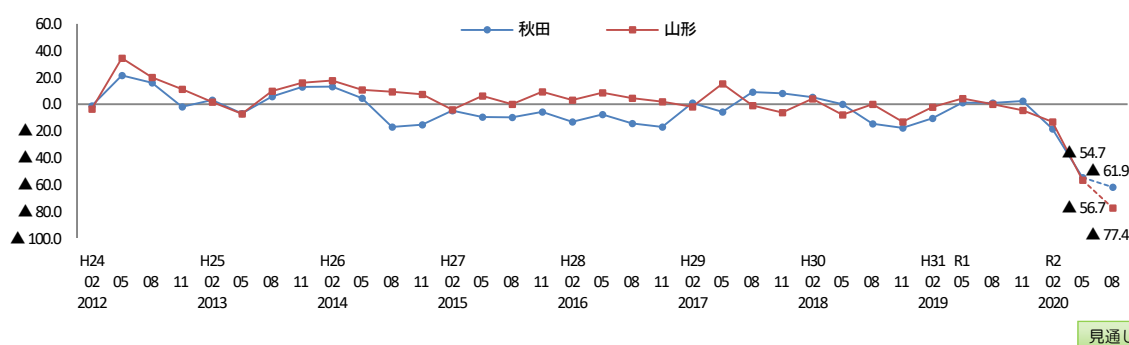
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2019.05 (n=100)	▲ 5.0	3.6	▲ 19.0	▲ 1.0	▲ 3.0	▲ 45.0	▲ 1.0	25.0	▲ 4.0
2019.08 (n=104)	1.9	6.9	▲ 14.0	▲ 5.8	▲ 6.7	▲ 29.8	▲ 8.7	37.5	▲ 10.6
2019.11 (n=98)	▲ 3.1	▲ 5.0	▲ 22.1	▲ 9.2	▲ 5.1	▲ 18.4	▲ 4.1	35.7	▲ 8.2
2020.02 (n=102)	▲ 40.2	▲ 37.1	▲ 29.6	▲ 38.2	▲ 32.3	▲ 29.4	▲ 11.8	24.5	▲ 18.6
2020.05 (n=106)	▲ 47.2	(▲ 7.0)	▲ 43.1	▲ 50.0	▲ 42.4	5.6	▲ 23.6	7.5	▲ 20.7
前回調査比	-	-	-	(▲ 11.8)	(▲ 10.1)	(35.0)	(▲ 11.8)	(▲ 17.0)	(▲ 2.1)
先行き見通し	▲ 65.1	-	-	▲ 65.1	▲ 66.0	▲ 11.3	▲ 24.5	16.0	▲ 37.8
今回調査比	(▲ 17.9)	-	-	(▲ 15.1)	(▲ 23.6)	(▲ 16.9)	(▲ 0.9)	(8.5)	(▲ 17.1)

④ サービス業

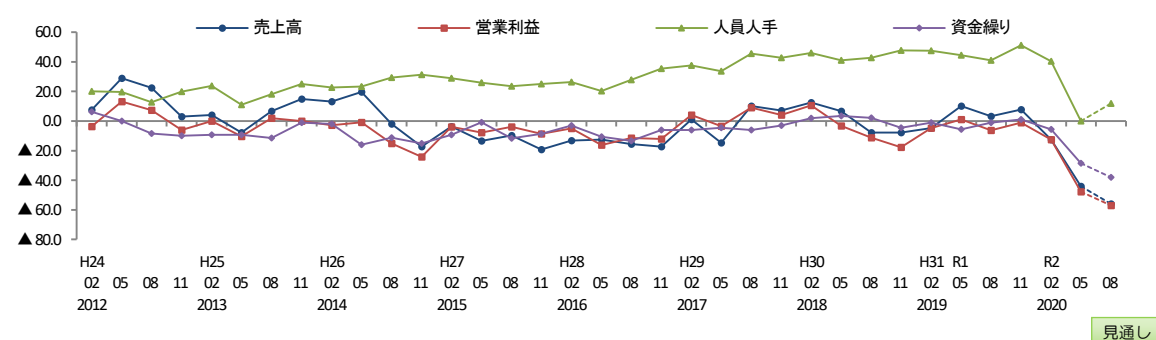
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲54.7（前回調査比 36.3 ポイント下落）と大幅に悪化し、2 期連続での悪化となった。「各種 D I 値（前年同期比）」でみると、「売上高」、「営業利益」、「資金繰り」はいずれも悪化し、「人員人手」は不足感が解消した。各社のコメントからみると、新型コロナウイルス感染症を背景に観光関連や運輸関連などを中心に需要の落ち込みが見られた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲61.9（今回調査比 7.2 ポイント下落）と大幅な悪化の見込みとなっている。

図表 10 サービス業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 11 サービス業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2019.05(n=88)	1.1	11.6	▲ 11.6	10.2	1.1	44.4	▲ 5.6
2019.08 (n=95)	1.0	▲ 0.1	▲ 12.5	3.2	▲ 6.3	41.1	▲ 1.1
2019.11 (n=90)	2.3	1.3	▲ 3.1	7.7	▲ 1.1	51.1	1.1
2020.02 (n=87)	▲ 18.4	▲ 20.7	▲ 8.9	▲ 12.6	▲ 12.6	40.3	▲ 5.7
2020.05 (n=84)	▲ 54.7	(▲ 36.3)	▲ 18.4	▲ 44.0	▲ 47.7	0.0	▲ 28.5
前回調査比	-	-	-	(▲ 31.4)	(▲ 35.1)	(▲ 40.3)	(▲ 22.8)
先行き見通し	▲ 61.9	-	-	▲ 55.9	▲ 57.1	11.9	▲ 38.1
今回調査比	(▲ 7.2)	-	-	(▲ 11.9)	(▲ 9.4)	(11.9)	(▲ 9.6)

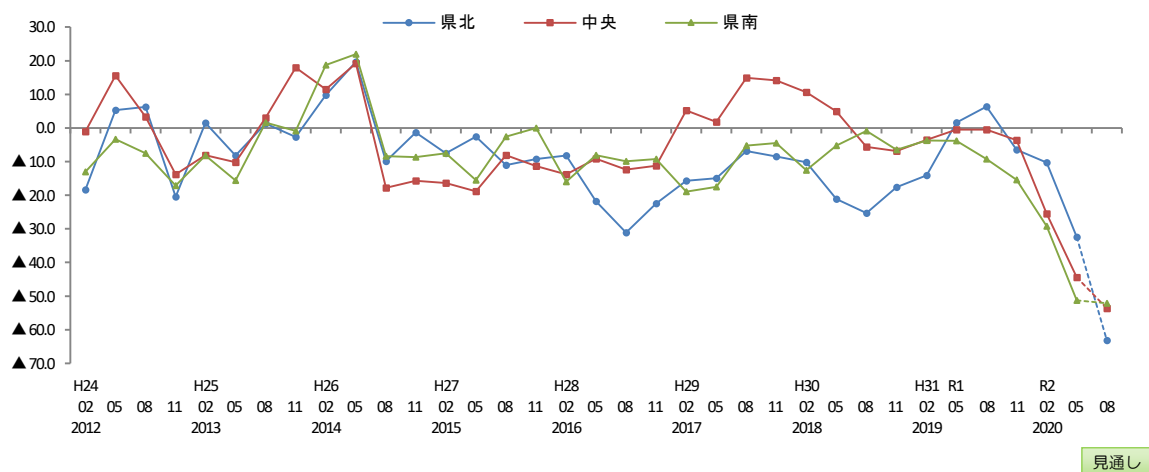
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況D I 値（前年同期比）」をみると、県北が▲32.4（前回調査比 22.1 ポイント下落）、中央は▲44.4（同 18.9 ポイント下落）、県南は▲51.3（同 22.1 ポイント下落）と 3 地域すべてで大幅な悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」をみると、3 地域すべてで悪化の見通しとなっており、特に県北が厳しい見通しとなっている。

図表 12 地域別「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			
	全地域	県北	中央	県南
2019.05 (n=372)	▲ 1.1	1.6	▲ 0.5	▲ 3.8
2019.08 (n=375)	▲ 1.9	6.4	▲ 0.5	▲ 9.2
2019.11 (n=367)	▲ 7.6	▲ 6.5	▲ 3.6	▲ 15.4
2020.02 (n=377)	▲ 23.9	▲ 10.3	▲ 25.5	▲ 29.2
2020.05 (n=388)	▲ 44.3	▲ 32.4	▲ 44.4	▲ 51.3
前回調査比	(▲ 20.4)	(▲ 22.1)	(▲ 18.9)	(▲ 22.1)
先行き見通し	▲ 54.9	▲ 63.2	▲ 53.7	▲ 52.1
今回調査比	(▲ 10.6)	(▲ 30.8)	(▲ 9.3)	(▲ 0.8)

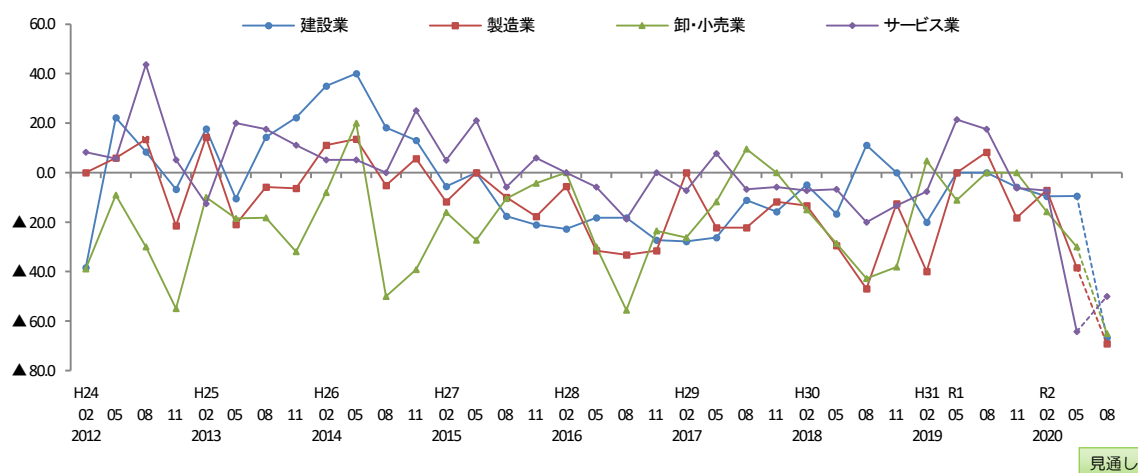
(2) 地域別 D I 値の動向

① 県北

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲32.4（前回調査比 22.1 ポイント下落）と大幅に悪化し、3 期連続の悪化となった。業種別では、建設業が小幅な改善となったものの、その他の 3 業種では悪化となり、特にサービス業では 57.1 ポイント下落、製造業でも 31.3 ポイント下落と、この 2 業種で大幅な悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲63.2（今回調査比 30.8 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。業種別では、サービス業では改善が見込まれる一方、その他の 3 業種では大幅な悪化の見通しとなっている。

図表 13 県北業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

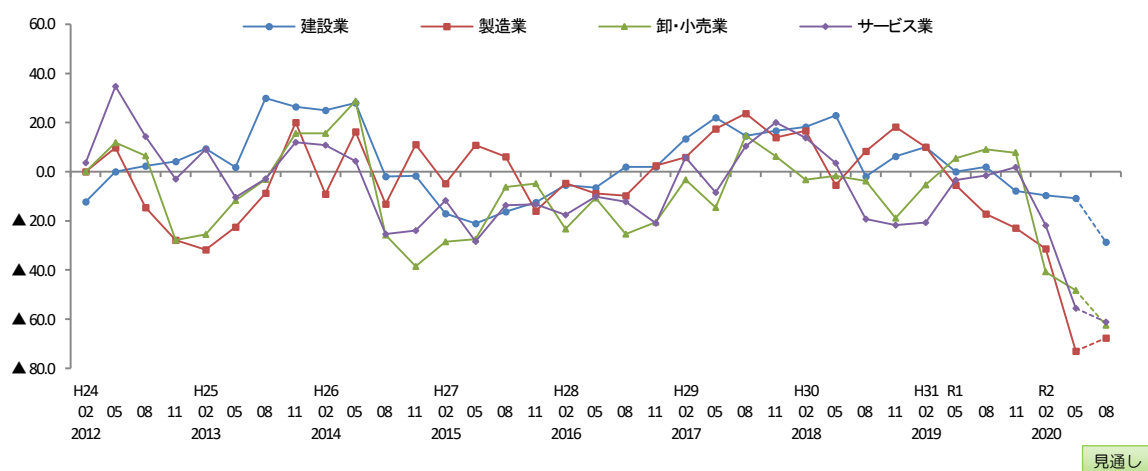
県 北 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）					
		建 設	製 造	卸・小売	サービス	
2019.05 (n=62)		1.6	0.0	0.0	▲ 11.1	21.4
2019.08 (n=63)		6.4	0.0	8.3	0.0	17.6
2019.11 (n=61)		▲ 6.5	▲ 5.8	▲ 18.2	0.0	▲ 6.2
2020.02 (n=68)		▲ 10.3	▲ 9.6	▲ 7.1	▲ 15.8	▲ 7.2
2020.05 (n=68)		▲ 32.4	▲ 9.5	▲ 38.4	▲ 30.0	▲ 64.3
前回調査比	(▲ 22.1)	(0.1)	(▲ 31.3)	(▲ 14.2)	(▲ 57.1)	
先行き見通し		▲ 63.2	▲ 66.7	▲ 69.2	▲ 65.0	▲ 50.0
今回調査比	(▲ 30.8)	(▲ 57.2)	(▲ 30.8)	(▲ 35.0)	(14.3)	

② 中央

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲44.4（前回調査比 18.9 ポイント下落）と 3 期連続の悪化となった。業種別では 4 業種すべてで悪化となっており、特に製造業では 41.6 ポイント下落、サービス業でも 33.7 ポイント下落と、この 2 業種で大幅な悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲53.7（今回調査比 9.3 ポイント下落）と悪化が見込まれている。業種別にみると、製造業では小幅な改善が見込まれているものの依然大幅な悪化超で、その他の 3 業種では悪化の見通しとなっている。

図表 14 中央業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

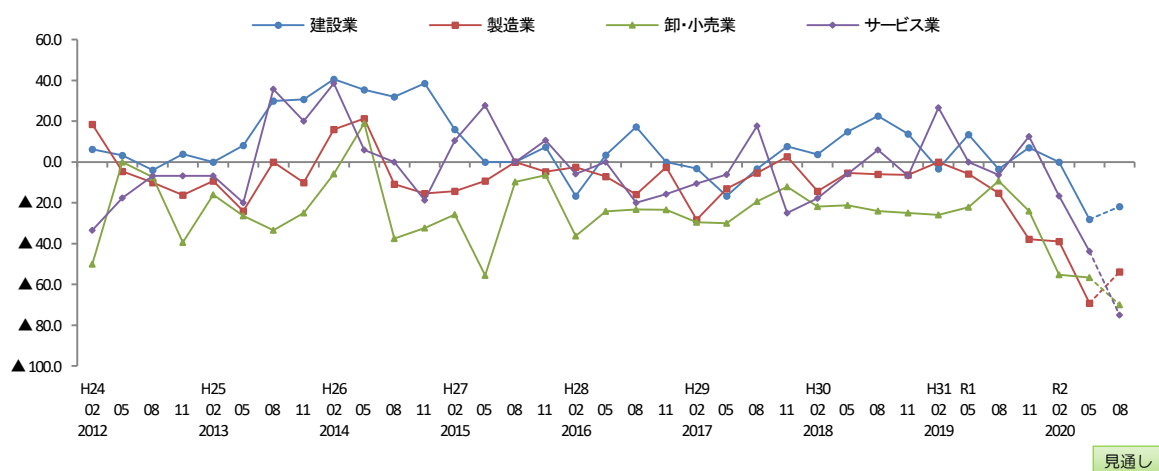
中 央 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
		建 設	製 造	卸・小売	サービ
2019.05 (n=204)	▲ 0.5	0.0	▲ 5.5	5.5	▲ 3.4
2019.08 (n=203)	▲ 0.5	1.9	▲ 17.2	9.1	▲ 1.6
2019.11 (n=196)	▲ 3.6	▲ 7.8	▲ 22.9	7.7	1.8
2020.02 (n=196)	▲ 25.5	▲ 9.6	▲ 31.4	▲ 40.8	▲ 21.8
2020.05 (n=203)	▲ 44.4	▲ 10.8	▲ 73.0	▲ 48.2	▲ 55.5
前回調査比	(▲ 18.9)	(▲ 1.2)	(▲ 41.6)	(▲ 7.4)	(▲ 33.7)
先行き見通し	▲ 53.7	▲ 28.6	▲ 67.6	▲ 62.5	▲ 61.1
今回調査比	(▲ 9.3)	(▲ 17.8)	(5.4)	(▲ 14.3)	(▲ 5.6)

③ 県南

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲51.3（前回調査比 22.1 ポイント下落）と 5 期連続で悪化した。業種別にみると、4 業種すべてで悪化となっており、小幅な悪化にとどまった卸・小売業を除く 3 業種では 30.0 ポイント前後の下落と、大幅な悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲52.1（今回調査比 0.8 ポイント下落）と小幅な悪化が見込まれている。業種別では、建設業と製造業で改善が見込まれている一方、卸・小売業とサービス業では大幅な悪化の見通しとなっている。

図表 15 県南業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



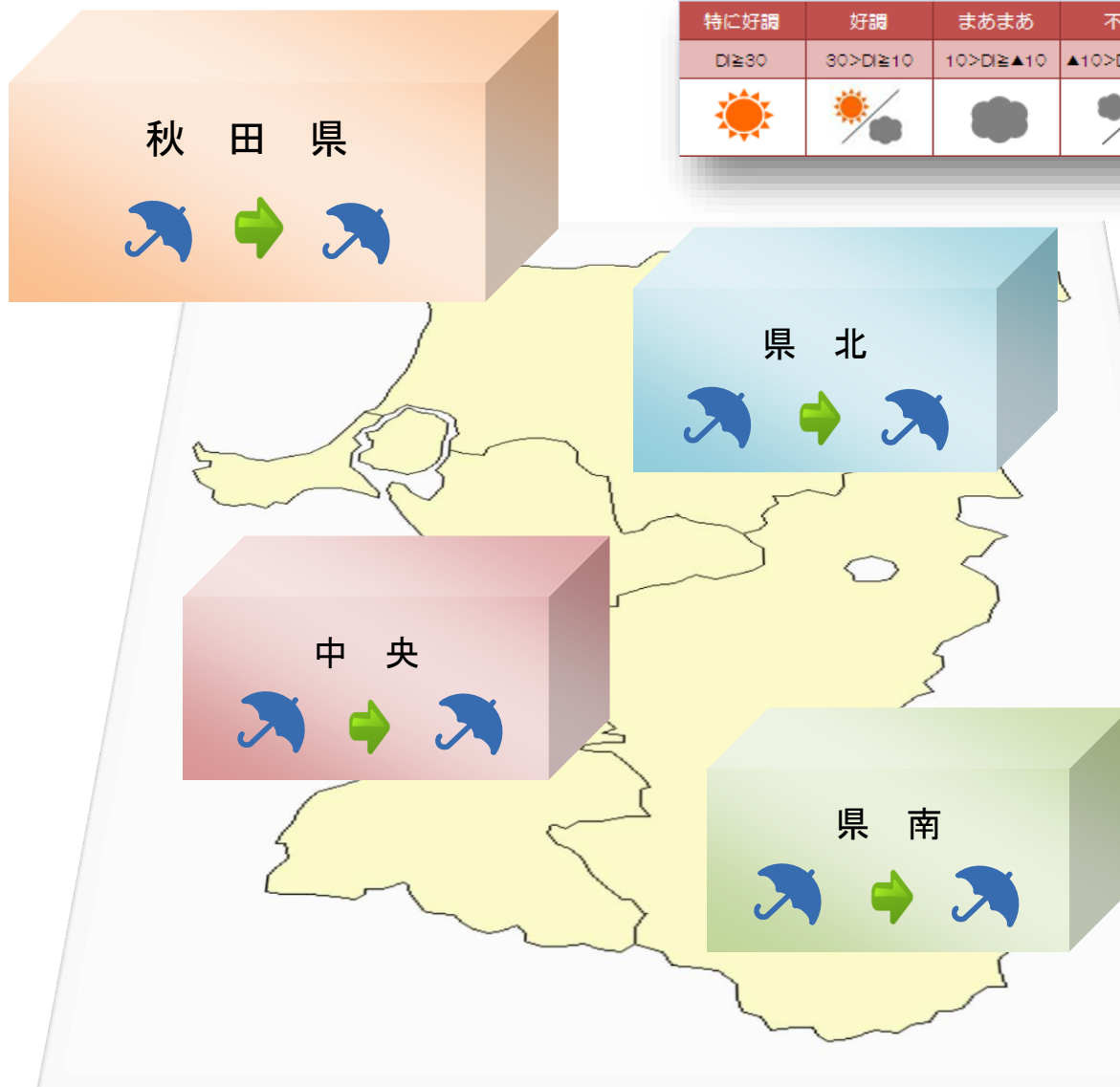
前年同期比の自社業況 D I 値

県 南 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
		建 設	製 造	卸・小売	サービ
2019.05 (n=106)	▲ 3.8	13.4	▲ 5.9	▲ 22.2	0.0
2019.08 (n=109)	▲ 9.2	▲ 3.5	▲ 15.2	▲ 9.3	▲ 6.3
2019.11 (n=110)	▲ 15.4	7.1	▲ 37.8	▲ 24.1	12.5
2020.02 (n=113)	▲ 29.2	0.0	▲ 38.9	▲ 55.2	▲ 16.6
2020.05 (n=117)	▲ 51.3	▲ 28.1	▲ 69.2	▲ 56.6	▲ 43.8
前回調査比	(▲ 22.1)	(▲ 28.1)	(▲ 30.3)	(▲ 1.4)	(▲ 27.2)
先行き見通し	▲ 52.1	▲ 21.9	▲ 53.8	▲ 70.0	▲ 75.0
今回調査比	(▲ 0.8)	(6.2)	(15.4)	(▲ 13.4)	(▲ 31.2)

Ⅱ. 景気の天気予報図

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
$D \geq 30$	$30 > D \geq 10$	$10 > D \geq \Delta 10$	$\Delta 10 > D \geq \Delta 30$	$\Delta 30 > D$



今期の概況

	秋 田 県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				



来期の見通し

	秋 田 県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				

Ⅲ. 特別調査

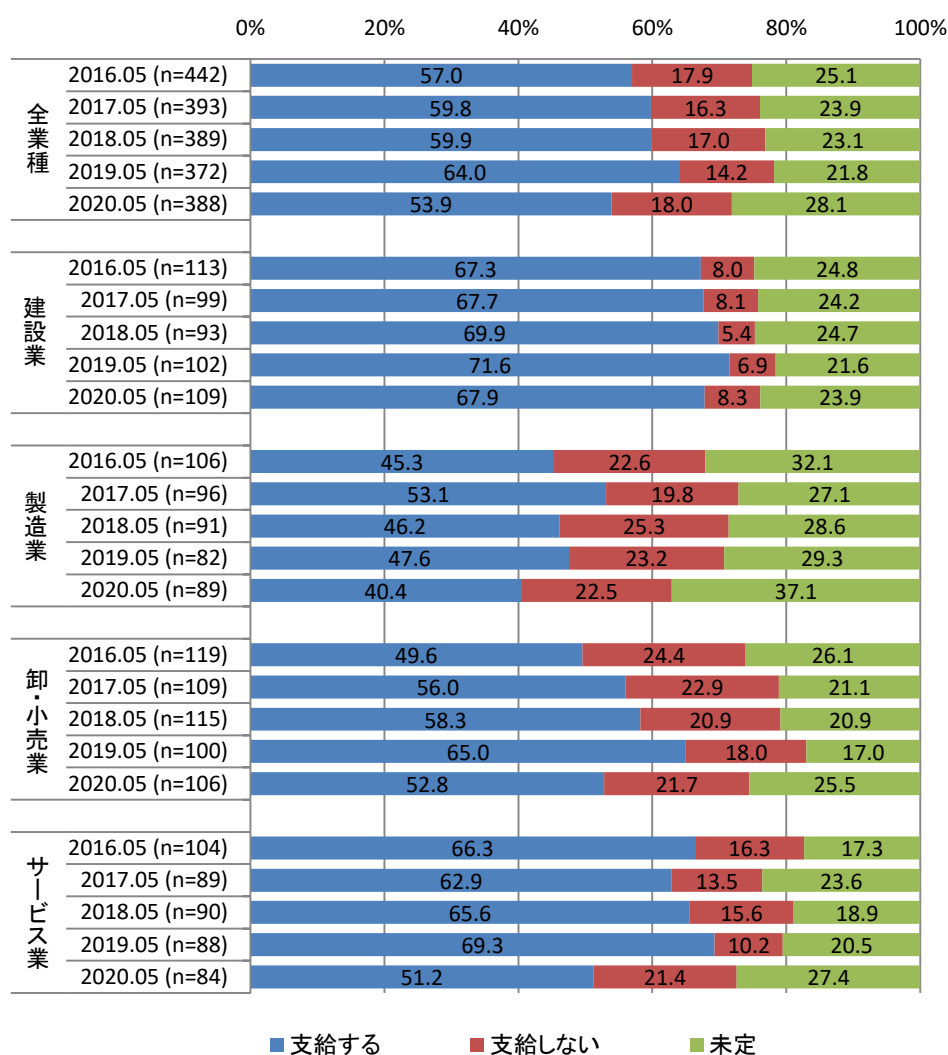
1. 夏季ボーナスの支給動向について

(1) 支給予定動向

夏季ボーナスの支給動向（予定）について尋ねたところ、回答企業（388 社）の 53.9%が「支給する」と回答した。この割合は、前回調査（64.0%）から 10.1 ポイント低下し、4 期ぶりの低下となった。一方、「支給しない」と回答した企業の割合は 18.0%で、前回調査（14.2%）から 3.8 ポイント上昇した。

業種別にみると、「支給する」と回答した企業の割合は建設業が 67.9%で引き続き最も高く、次いで卸・小売業（52.8%）、サービス業（51.2%）、製造業（40.4%）と続き、この割合はすべての業種で前回調査より低下となった。

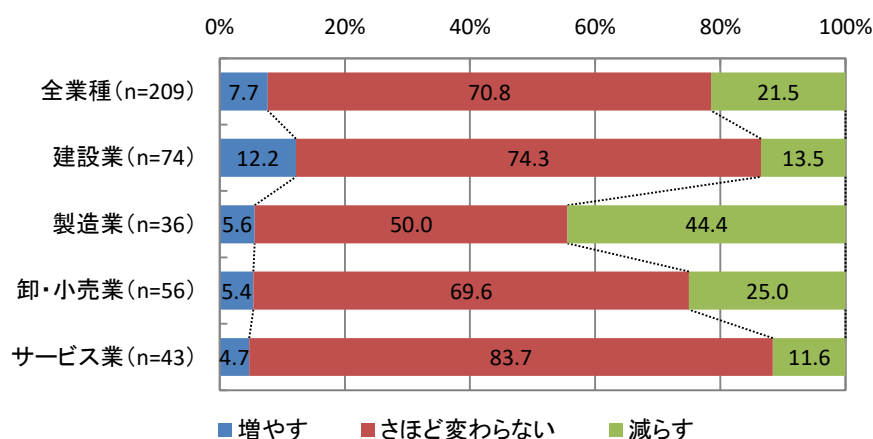
図表 16 業種別「夏季ボーナスの支給動向」



また、今季「支給する」と回答した企業に対し、昨年夏季と比べて支給額を増やすかどうか尋ねたところ、全業種では「さほど変わらない」と回答した企業が 70.8%と最も多く、次いで「減らす」とした企業が 21.5%と 2 割台が続いている。一方、「増やす」とした企業は 7.7%と 1 割未満にとどまった。

業種別にみると、「増やす」と回答した企業の割合は建設業の 12.2%が最も高く、最も低いのはサービス業の 4.7%であった。一方、「減らす」と回答した企業の割合は、製造業で 44.4%と、他の 3 業種に比べて突出して高くなった。

図表 17 業種別 夏季ボーナスを“支給する”企業の方針（昨年夏季比）

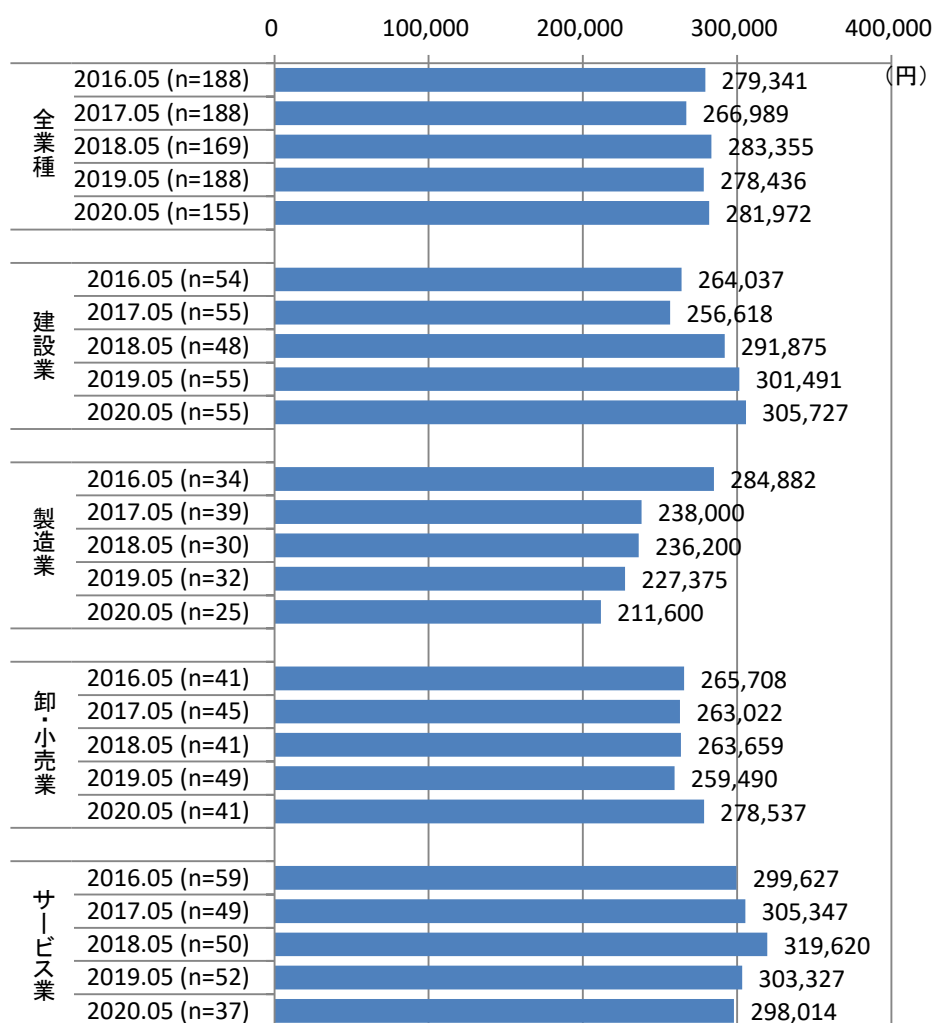


(2) 支給予定額について

夏季ボーナスの支給予定額について尋ねたところ、全業種平均（155 社）で 28.2 万円となり、前回調査に比べて 0.4 万円（1.3%）増加の見込みとなった。

業種別の平均支給予定額をみると、建設業と卸・小売業では増加が見込まれている一方、製造業とサービス業では減少する見込みとなっている。

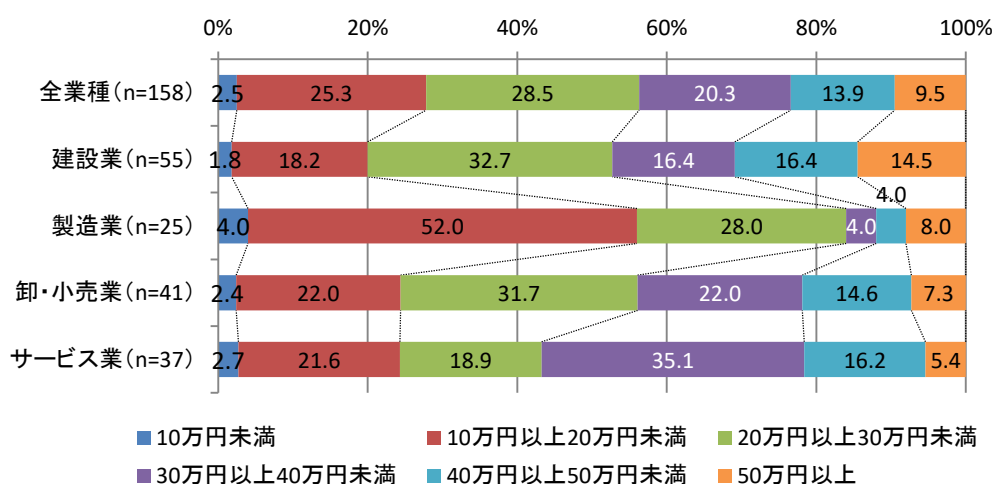
図表 18 業種別「夏季ボーナスの平均支給額」の推移



また、平均支給予定額の分布をみると、全業種では「20 万円以上 30 万円未満」の割合が 28.5%で最も高く、次いで「10 万円以上 20 万円未満」（25.3%）、「30 万円以上 40 万円未満」（20.3%）が続いている。

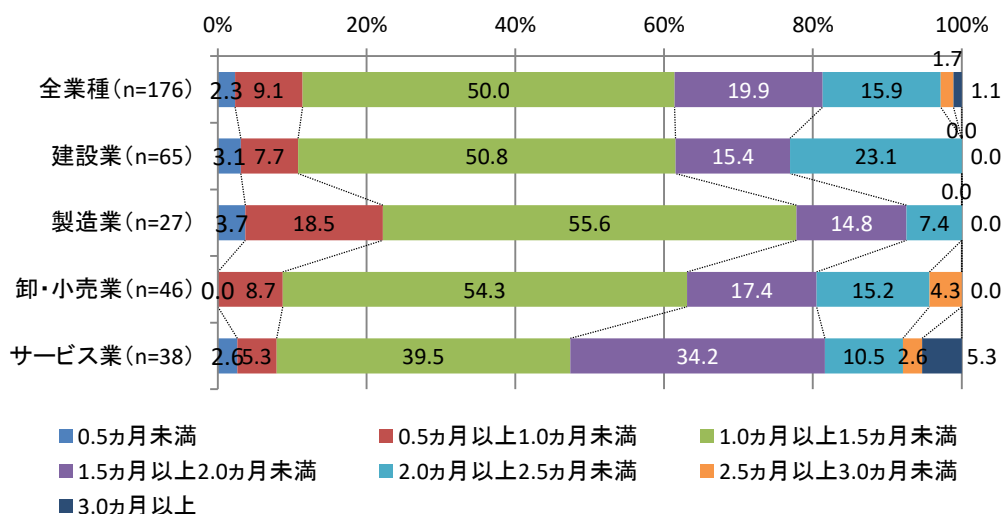
業種別にみると、建設業と卸・小売業では「20 万円以上 30 万円未満」の割合が最も高くなっている一方、製造業では「10 万円以上 20 万円未満」、サービス業では「30 万円以上 40 万円未満」が最も高くなるなど、業種によって違いが見られた。

図表 19 業種別「夏季ボーナスの平均支給予定額」



平均支給予定月数については、全業種では「1.0 カ月以上 1.5 カ月未満」が 50.0%と最も高く、製造業の 55.6%を始めとして、いずれの業種でも「1.0 カ月以上 1.5 カ月未満」が最も高い割合を示している。

図表 20 業種別「夏季ボーナスの平均支給予定月数」

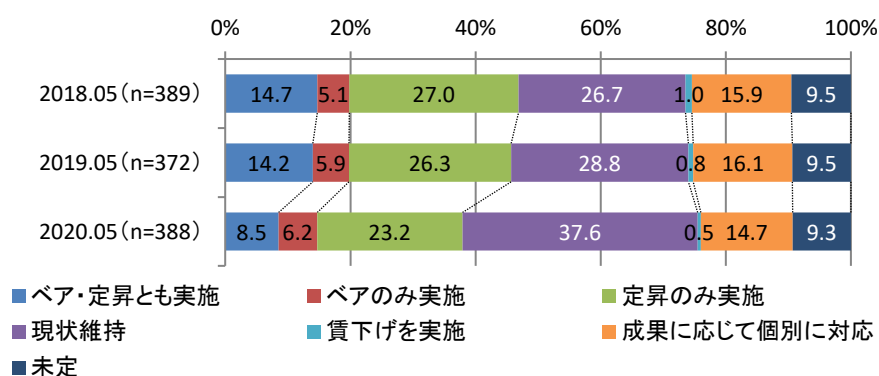


2. 春季以降の賃金改定動向について

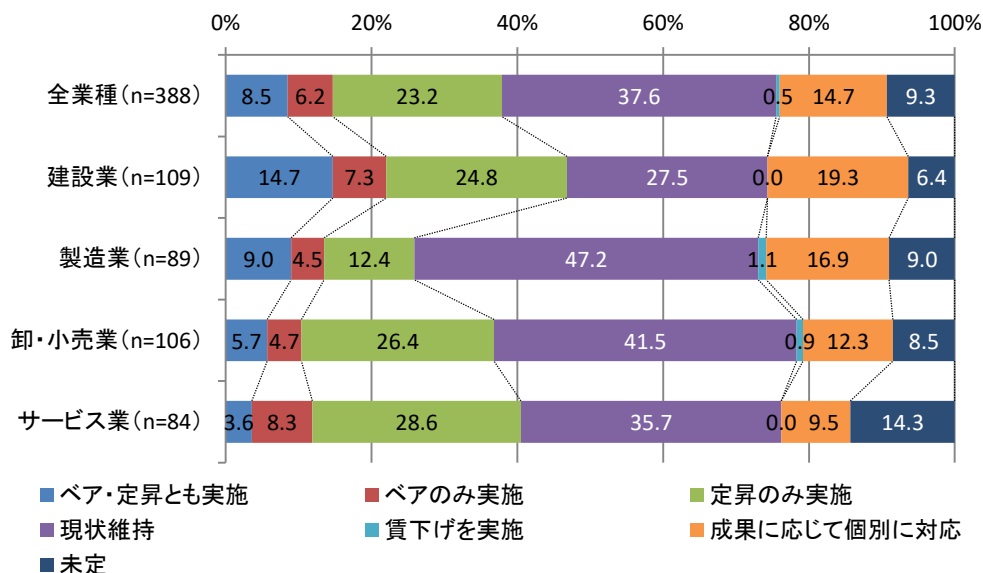
春季以降の賃金改定動向（ベースアップや定期昇給を実施する（した）か）について尋ねたところ、全業種では「ベア・定期昇給とも実施」する（した）企業は 8.5% で、これに「ベアのみ実施」（6.2%）と「定期昇給のみ実施」（23.2%）を加えた、「賃上げを実施する（した）」と回答した企業は 37.9% となり、前回調査（46.4%）から 8.5 ポイント低下した。

業種別にみると、「賃上げを実施する（した）」と回答した企業は建設業の 46.8% が最も高く、以下はサービス業（40.5%）、卸・小売業（36.8%）、製造業（25.9%）の順となっている。

図表 21 全業種「春季以降の賃金改定動向」の推移



図表 22 業種別「春季以降の賃金改定動向」

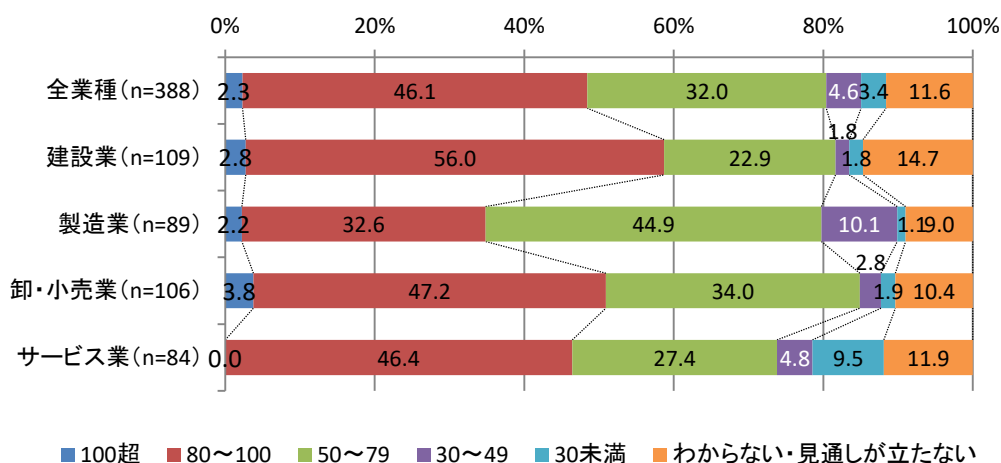


3. 新型コロナウイルス感染症の事業への影響

新型コロナウイルス感染症の事業への影響について、事業活動全体における平常時の経営状況を 100 とした場合の今年度の業績見通しについて尋ねたところ、全業種では「80～100」と回答した企業が 46.1%で最も多く、これに「50～79」（32.0%）、「わからない・見通しが立たない」（11.6%）が続き、「30～49」（4.6%）、「30未満」（3.4%）、「100超」（2.3%）はいずれも 1 割未満の極めて低い割合となった。全体の 4 割の企業が平常時の 8 割未満に落ち込むことを見込んでおり、また、1 割の企業は「わからない・見通しが立たない」と回答していることから、総じてみれば新型コロナウイルス感染症の事業への影響の大きさがうかがえた。

業種別にみると、建設業、卸・小売業、サービス業では「80～100」の割合が最も高くなっている一方、製造業では「50～79」が最も高くなっている。

図表 23 業種別「平常時を 100 とした場合の今年度の業績見通し」



<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	22	18	24	19	83
中央	67	51	69	77	264
県南	37	51	40	22	150
合計	126	120	133	118	497

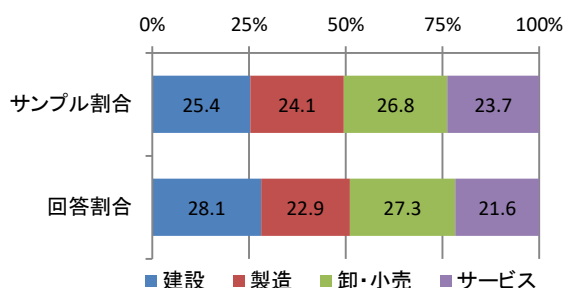
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	21	13	20	14	68
中央	56	37	56	54	203
県南	32	39	30	16	117
合計	109	89	106	84	388

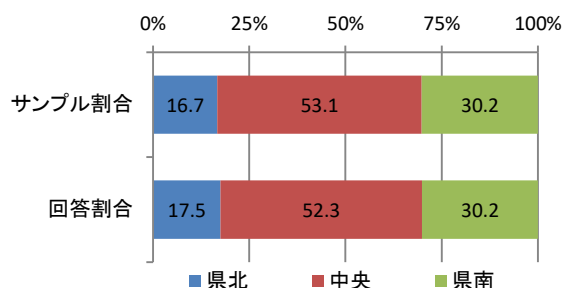
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	95.5	72.2	83.3	73.7	81.9
中央	83.6	72.5	81.2	70.1	76.9
県南	86.5	76.5	75.0	72.7	78.0
合計	86.5	74.2	79.7	71.2	78.1

(業種別：%)



(地域別：%)



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部 F A X を利用）。

● 調査期間

2020 年 5 月 11 日（月）～20 日（水）

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
県北	大館市、能代市、北秋田市、鹿角市、三種町、八峰町、小坂町、藤里町、上小阿仁村
中央	秋田市、由利本荘市、湯上市、男鹿市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大湯村
県南	横手市、大仙市、湯沢市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採用している。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。

項目	選択肢（択一方式）		
自社の業況（共通項目）	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況（共通項目）	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高（建設業を除く）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高（建設業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益（共通項目）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手（共通項目）	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り（共通項目）	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格（製造業のみ）	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製（商）品の仕入価格（卸・小売業のみ）	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況（製造業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
手持工事高（建設業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

（注）各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採用している。

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、算出方法は次の通り。

例）自社の業況 D I 値

＝（「1. 良い」と回答した企業の割合）－（「3. 悪い」と回答した企業の割合）

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向（良くなっているか、悪くなっているか）についても分かる。

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1.」（「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと）を選んだ企業の割合から選択肢「3.」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

<お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ（<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>）にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ（<https://www.fir.co.jp/>）「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研 秋田事業所 地域政策コンサルティング部 後藤／佐藤

・ 秋田事業所

〒010-0001 秋田県秋田市中通 3-1-41 北都銀行本店 3F

TEL：018-837-1727 Fax：018-834-5508

・ 山形支社

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-21 荘銀山形ビル 8F

TEL：023-626-9017 Fax：023-626-9038 E-mail：kenkyuu@fir.co.jp

URL：https://www.fir.co.jp/